

絹 物 語

柴 田 公 子



世界最初の布製（絹）切手 ポーランド 1958

紙で裏打ちしていないので柔らかい

絹は「繊維の女王」と言われ、現代の科学技術でも絹を上回る繊維は作れない。軽くて暖かく、肌に優しい絹。蚕が作り出す「繭」から各工程を経て織られるのが絹織物であり、韌皮（じんぴ）繊維や麻繊維しか知らなかった民にとって「絹」は神々しいものだっただろう。

第一章では中国の厳格な秘密政策でなかなか世界に広まらなかった絹の伝播と絹衣の服飾史を提示。

第二章では蚕から絹織物への工程をきわめて珍しい玉繭（二頭の蚕による繭）、蚕卵紙、温度管理の電化などで解説。養蚕から養蚕業への発展を示す。

第三章は現代には珍しい貴重な古布の絹織物などを展示。

絹をめぐる激しい攻防と美しい絹の世界をご覧ください。

プ ラ ン

第一章 絹布の歴史	2
1-1 中国から西へ	2-8
1-2 中国から日本へ	9-16
第二章 蚕から絹織物へ	
2-1 野蚕	17-18
2-2 家蚕	19-20
2-3 養蚕の発展	21-28
2-4 養蚕の工業化	29-36
第三章 各地の絹織物	37-48

第一章 絹布の歴史

1-1 中国から西へ

BC6000 年頃、野蚕を家畜化して、養蚕がはじまった。本格的な絹の生産は BC3000 年頃の中国で始まった。伝説によれば黄帝の後・嫫祖（れいそ）が「養蚕の始祖」といわれている。



中国 2019 「中国古代神话」
嫫祖と絹の起源

嫫祖の夫・黄帝は妻に衣冠の素材を見つけるよう命じた。なかなか見つからず、食欲もなくなりました。そんな時に女官たちが桑の木の下に白い実を見つけ、嫫祖に献上しました。嫫祖が木の棒を使ってその糸をほぐしてみるとその強度と光沢に驚いた。女官たちに「この果実は食べられませんが、あなたたちは黄帝陛下に多大な貢献をしましたよ。」と言い、自ら山へ行きこの白い物体を探し出し、それが蛹であることを知った。その幼虫は口から細い糸を吐き出しており、その糸を自らの体に巻き付けていたのだ。嫫祖は宮殿に戻ると黄帝にこのことを報告し、山中の桑林を保護するように頼み、黄帝も同意した。これ以降、嫫祖の管理の下で養蚕が始まった。この伝説より嫫祖は、「先蚕娘娘」と尊称された。

BC5 世紀には杭州を中心に蚕が飼育され、絹の生産が行われていた。勿論、絹の衣服は王族だけが着られていた。弓の弦、楽器の弦、紙の代わりにも使用された。



切手帳表紙 杭州風景 票公司発行 1989

切手帳 50%



万里の長城

匈奴のような北方の遊民族が侵入してくるのを迎撃するために、紀元前 214 年に秦代の始皇帝によって建設が始まる。「農耕民族と遊牧民族の境界線」と言われる



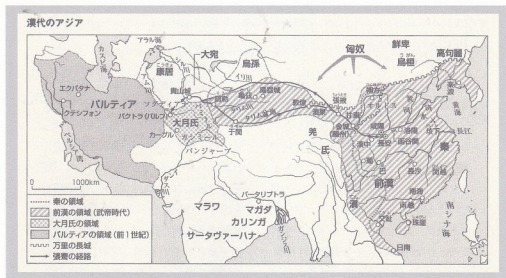
BC200年～AD200 絹の外交、隣国への進出が始まるが、絹生産については秘密。蚕を中国から連れ出したりした人は誰でも死刑。シルクロードによる東西文化の交流の始まるもなかなか西洋へ伝わらなかった。



中国 1992 敦煌の壁画 (第4次)
大月氏へと赴く張騫使節団武帝にいとまごい

張騫使節団 大月氏への10年をかける旅

張騫は中国前漢・武帝の命により匈奴に対する同盟を説くために BC139 年頃、大月氏へ旅にでるが、途中で匈奴に捕らえられ、10年も過ごした。その後、脱走し大月氏へ到達し、無事に帰国、漢に西域の情報をもたらした。漢の西方への勢力拡大に大きく貢献し、西方との交易の道が開かれ、武帝は本格的な西域経営に乗り出す。また張騫の活動は、唐の頃に盛んになるシルクロード交易の基礎を築いた。



1世紀、中国外で初めて絹が生産される。

ホータン王国 (Kingdom of Khotan) はシルクロードの一つ西域南道沿いにあった仏教王国。タリム盆地のタクラマカン砂漠の南に位置し、現在では中華人民共和国新疆ウイグル自治区にあたる。考古学者の発掘作業で発見された壁画に ホータン王に嫁いで来た中国の王女が、髪の中にカイコの卵を隠していたと記されている。



「カイコの伝来を伝える壁画」ダンダン・ウィリク出土

BC200年～AD200 絹の外交、隣国への進出が始まる。絹生産については秘密であり、蚕を中国から連れ出したりした人は誰でも死刑。シルクロードによる東西文化の交流の始まり。

017489C

钟樓与清真寺

《中国—伊朗联合发行》
ZHONG GUO YI LIAN IRAN HE FA XING



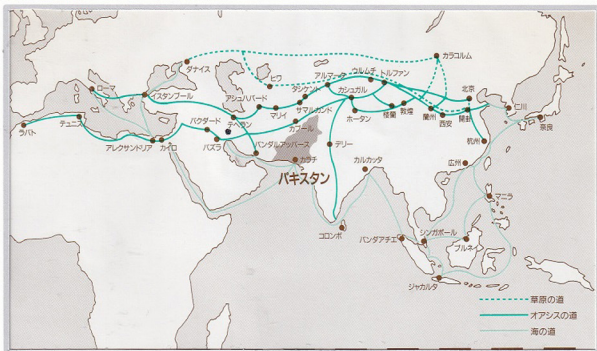
古代丝绸之路（部分）

伊斯坦法罕

长安（今西安）

北京景福

中国 2003「鐘樓とモスク」 中国・イラン共同発行



シルクロードマップ

イスファハン

長安（今の西安）

唐の都・長安（現在の西安）には最盛期で100万人が暮らしており、各地から商人が集まっていた。商人以外の人々、留学生なども集まるように。日本からは 阿倍仲麻呂（698～770年頃）が有名。絹織物は新羅・トルファン・タジキスタン・北カサスなどへ伝わっていた。また、華やかな側室や女房達的生活場面描かれ、絹地の服飾が伝わる。緩い外交であった。



中国 1995 「唐・春の遠出」張玄画



中国 1984 「簪花仕女图」周昉画

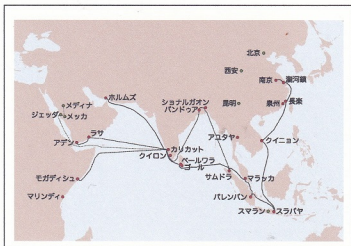


中国 2013 「捣练图」 砧で絹地を打ち柔らかさ、光沢を出す。古代において衣服を作る際の重要な手順の一つ



中国古代绘画・唐・挥扇仕女图

南海遠征の主要な目的の一つは、貿易を促進すること。中国と周辺諸国との貿易を拡大し、経済的な利益をもたらすことが期待された。鄭和の艦隊は、絹織物他、多くの貴重品や工芸品を携えて出航し、訪問先でそれらを取引。ライオンとヒョウ、アラブ馬、モガディシユからシマウマ、ラクダ、ダチョウなどの珍獣が中国に来了。



中国 2005 鄭和西洋航海 600 周年記念三連



中国 2005 鄭和西洋航海 600 周年記念 小型シート

ヨーロッパでの絹産業の流れ



防水シール
コンスタンティノープル



イタリア 2019
カラブリア海岸の要塞
シルクロード西のはて
養蚕業が伝わる

6世紀 東ローマ帝国ユスティニアヌス帝の命で
国から蚕の卵が持ち出され、コンスタン
ティノープル付近で絹の生産が始まる。
ベルシャ〜スペインへ養蚕・製糸が伝わる

8世紀 シチリア島にイスラーム教徒が蚕や桑を
持ち込み、本格的生産

12世紀 まずイタリアで盛んに絹織物が生産

ヴェネツィア (13世紀)、ジェノヴァ、
フィレンツェ (14世紀)、ミラノ (15
世紀) など イタリアで絹製造が発展

13世紀 中世の第4十字軍フランスの後、リヨン (フランス第二
の都市) にイタリアの職人を招き、絹生産開始。ルイ 11
世が南フランスでの養蚕業の発展を指示。

16世紀 リヨンは国から特許が認められ、ヨーロッパでの絹産業の
中心地となりナポレオンもこのリヨンを
訪れて絹織物産業の保護に努めた



ユスティニアヌス帝



ウズベキスタン 1992
独立後初めての切手
ナディラ王女
19世紀王族の服飾



仏領チュニジア 1945
切手の日 ルイ 11 世
UNISIA 加刷



トルコ 2019 シルク製変形切手
トルコの風景・ハナズオウ・
日本女性(絹着物)・桜を描く



フランス 1973 「ナポレオン戴冠式」

19 世紀後半 イギリス・ヴィクトリア女王(在位 1837-1901)による海外植民地の拡大、「太陽の沈まぬ国」と言われるほど発展させた女王。大英帝国繁栄の象徴。在位中は産業革命も起こり、精紡・織機の改革もあった。1840 年ザクセン公国のアルバート公と結婚するが、結婚式で純白のウェディングドレスを着用し、世界の大先駆けとなった。1877 年からはインド皇帝も兼ねる。



英領マン島 1990 ベニーブラック 100 周年記念コイン



イギリス 1987 ヴィクトリア女王即位 150 周年



1950 クレーフェルト消印・Berlin 行き実通便

ライン川の左岸クレーフェルトは 1702 年プロイセン王国に陥落したが、その後、ヨーロッパの絹織物産業の重要な中心地になった。18～19 世紀「ビロードとシルクのような街」として発展した。糸巻きが描かれている。(紡績か機織りかは不明)



1850-60 年代 欧州全土で微粒子病蔓延・日本産絹糸が伸びた。

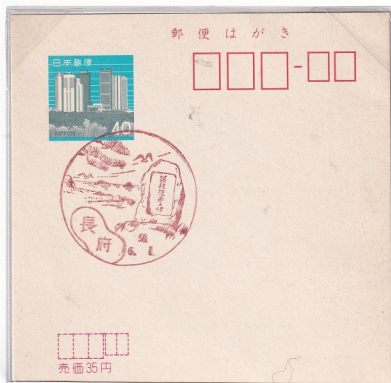
2010 年代には絹スカーフとコラボ切手発売



1-2 中国から日本へ

縄文後期（BC2000～BC1000） 機織りの技術が伝わり、縄文後期の遺跡から平織物が出土。
弥生時代前期（BC8C～AD3C）には吉野ヶ里集落ができ栄えた。

仲哀天皇4年（195年）に秦の始皇11代の孫・功満王（こまおう）が渡来し、日本に住むにあたって蚕の卵を奉獻したとされ、豊浦宮（現在の忌宮神社）が蚕種渡来之地とされている。



長府郵便局風景印（廃印） 蚕種渡来之碑

「カイコの来た道」農文協によれば、渡来人を近江、下毛野、常陸、武蔵国へ住まわせた。東国に養蚕が広まる



吉野ヶ里遺跡

700年続いた弥生時代の全ての時期の遺構・遺物が発見されています。ムラからクニへと発展した。麻や絹織物も出土している。2023年に行われた吉野ヶ里遺跡の発掘調査によって、邪馬台国九州説が後押しされている。



吉野ヶ里遺跡 1991

古墳時代～飛鳥時代 250～710

雄略天皇：日本の第21代天皇（418～479年）別名・獲加多支箇大王（わかたけるのおおきみ）
秦民（秦氏の後裔）の統率を強化して、専制君主で暴れ者でもあったが、養蚕業を奨励するなど、
渡来人技術者を重用し、大和政権拡大と強化に尽くす。

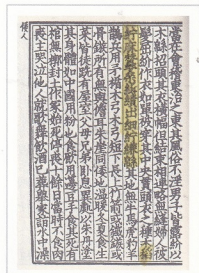
240年、卑弥呼に絹布が下賜され、

243年、「倭錦」が献上された。

280-297年、魏志倭人伝に日本の様子が書かれている。



『御歴代百廿一天皇御尊影』より

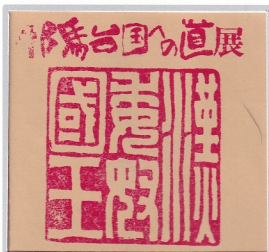


1989 国宝シリーズ 金印
漢委奴國王印

↑ 読み下し文

稲や麻（苧麻）を植え、蚕に桑を食わせ、糸を紡いで上等な長織物やくり繰り返し合わせて緻密に織りあげた絹織物を産出している。

当時は平織の絹布で王族のみの服飾



1980年「邪馬台国への道」展スタンプ



1964 飛鳥の春の額田王 安田敦彦画

高松塚古墳壁画
発見五十周年記念

極彩色壁画の発見から半世紀
描かれた飛鳥びとの目は
二〇〇年変わらぬ飛鳥の地を見つめています。



発見の感動
深化する研究
未来への継承

1972年に石室内が明らかになり、極彩色の壁画を発見、唐風服飾だったことが証明された

この時代、身分により服飾が決められ、それは唐風服飾が用いられた。高松塚古墳の壁画に見られるような色、形となり、絹布であり、絹の染織技術も発達した。(下級官人や庶民の衣は麻や荒妙と言われる大麻や靱皮繊維)



東壁 青龍

東壁 男子像



1973 高松塚古墳 694年 - 710年終末期古墳壁画 西壁女子群像

遣唐使

遣唐使は日本からは原材料の朝貢品を献上し、唐皇帝から質の高い返礼品の工芸品や絹織物などが回賜として下賜されるうまみのある公貿易で、物品は正倉院にも残る。

東野治之氏著「遣唐使船」によれば、水織施（あしぎぬ）、美濃施、細施、黄施などの平織りの絹、黄糸、綵帛（生糸）、細屯綿（厚手の真綿）、疊綿、屯綿（平たく畳状にした真綿）など 朝貢品の大部分が、絹製品であった。それらを代宗が気に入ったと言うことは、日本の絹の質が良かったという事である。

施：太い糸で織った粗末な絹布



正倉院裂 赤茶地唐花花卉鳥文夾纈羅

正倉院裂 赤茶地唐花花卉鳥文夾纈羅

東京帝室博物館発行絵葉書

遣唐使船 飛鳥・奈良・平安時代に遣唐使を乗せ、東シナ海を横断した中国式の大型航洋船。文化発展に貢献。



1975 船シリーズ遣唐使船 FDC

正倉院：756年、光明皇太后は夫である聖武太上天皇の七七忌に際して、天皇遺愛の品約650点、及び60種の薬物を東大寺の盧舎那仏（大仏）に奉獻したのが始まりである。所蔵する宝物の9割以上は異国風のデザインを取り入れた日本産であるが、中国（唐）や西域、ペルシャなどからの輸入品もあることから、「正倉院がシルクロードの東の終着点」と言われる。



↑ 1988年 なら・シルクロード博切手帳

正倉院裂 御物碧地狩猟文錦





「源氏物語」一千年紀
源氏物語絵巻

鎌倉時代 1185~1333 荘園制崩壊により絹の需要減少、養蚕衰退。

狩衣はもともと都の中産階級の人々のお洒落着であった布衣に由来する。布と言う字からも解るとおりもともと麻布製の素朴なものであったが、動きやすさを好まれて貴族が鷹狩りなどの衣装として採用し、平安初期には上皇以下の貴族の日常着になった。材質は自由だったが、麻が主流に。

NATIONAL TREASURE SERIES 4

国宝シリーズ IV



First Day of Issue: Sep. 2, 1968

1968 「国宝シリーズ」(鎌倉時代)



馬と文化シリーズ

Horse Series 4

First Day of Issue Jan. 31, 1991



1991 「馬と文化シリーズ」佐野渡硯箱 鎌倉から平安の服飾
藤原定家の歌「駒止めて袖打ちはらふひまもなしさの渡りの雪の夕暮れ」から
白い螺鈿が雪をあらわしているのか？

室町～安土桃山時代 1336～1603

茶の湯・能などの隆盛により需要増大、高級絹布誕生。
日本の絹は戦乱続き品質不良。貿易による輸入、鎖国後も輸入継続



西陣郵便局風景印
西陣織の糸神を描く



1947 第二次新昭和
「能面」



1983 国立能楽堂
開場記念

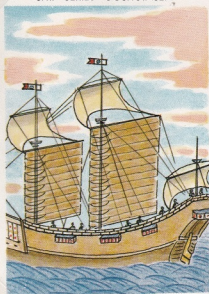


1972 古典芸能シリーズ
能「羽衣」

室町時代から大和猿楽の観阿弥・世阿弥親子によって大成された「能楽」は幕府や諸大名の保護のもと、「武家の式楽」としての地位を確立。式楽なのでその内容は格調高く幽玄であると同時にそこで使われる能装束は雅で華麗な趣を湛え、観る者を楽しませてくれる能装束を専業とする唯一の織元が西陣の佐々木能衣装である。桃山時代から受け継がれており、西陣織りの優れた技術と経験を駆使し、舞台の裏方として日本文化を守っている。

御朱印船 桃山時代から江戸初期にかけて東南アジア貿易に活躍した大型外航船。当初は中国式のちにヨーロッパ形式に。東南アジア諸港へ赴く朱印船の多くは中国産の生糸や絹の輸入が目的であった。日本産絹は中国産に比べると品質が悪く、太平の世の到来で高級衣料である中国絹に対する需要が増大したためである。

船シリーズ 御朱印船
SHIP SERIES "GOSHUSEN"



1975 船シリーズ遣唐使船 FDC

第二章 蚕から絹織物へ

2-1 野 蚕

野蚕とは絹糸を生成する野生の昆虫のうち人間が利用してきたものの。野蚕からとった絹糸を「ワイルドシルク」と呼ぶ。家蚕より太く、つやのある糸。糸をつくる能力を持つ絹糸昆虫は約10万種いる。野蚕は全くの人為的管理がされていないということではなく、飼養管理や品種改良も行われている。

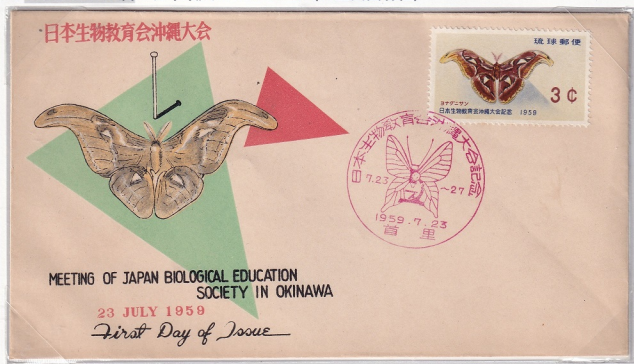


ヤママユ実物（断片）



断面実写

2-1-1 ヨナゲニサン属：日本最大のヤママユガ(八重山固有種)



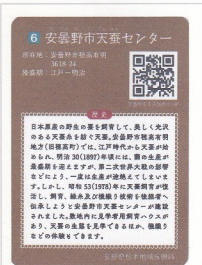
1959 日本生物教育会沖縄大会記念



南ベトナム 1968
不足料金用 ヨナゲニサン



松本地域振興課「蚕糸物語カード」



カード裏面 75%

2-1-2 その他の天蚕・ヤマムコ科



北朝鮮 1965
ヒマサン



サクサン



北朝鮮 1991
サクサン



北朝鮮 1991
ヤマム



北朝鮮 1991
オオミズアオ
北海道から九州に分布



中央アフリカ 1969
シンジュサン亜種



マダガスカル 1992 コメットガ
銀色の繭 ヤマムコ
「絶滅危惧II類」に指定



マダガスカル 野蚕の絹織物
"lambamena" (纏い布)

この布に死者をくるんでみおくる
日常ではカラフルな縞模様でアフ
リカ全土に広がっている。



モナコ 1973 ファーブル生誕150年
研究対象のオクジャクガ(ヤマムコ)
凹版彫刻: ビエール・ガンドン



チェコスロバキア 1983 自然保護
ヒメクジャクヤマムコとピオラ



サントメプリンシペ 1991
ヒメクジャクヤマムコ



1960 ルーマニア
オクジャクヤマムコ



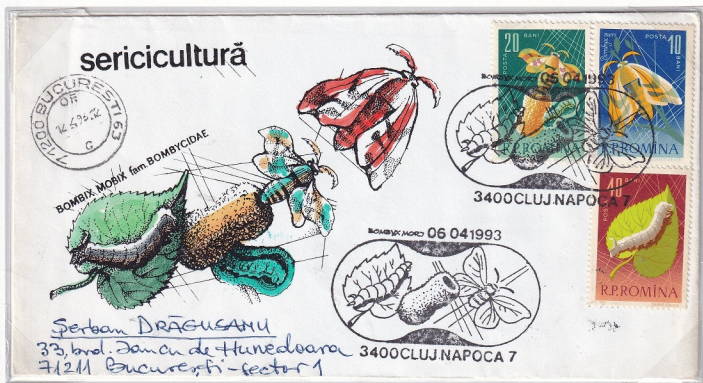
レバノン 1930.2.11 養蚕会議記念 世界で初めての蛾切手

Bombyx mori カイコガ (幼虫 繭、成虫)



ペイルート局消印 1930.8.6 N.Y.行き





1963 ルーマニア 養蜂と養蚕



ブラジル 1982 「自然経済資源」絹織物 - シルク



日本風景印 蚕桑 (コグワ) 郵便局
繭・蚕・桑・白鷹・白鷹山を描く

2-3 養蚕業の発展

2-3-1 養蚕業の組織化

組織的には大日本蠶絲會が明治 25 年に発足。初代總裁 伏見宮貞愛親王殿下に奉戴。昭和 56 年からは常陸宮正仁親王殿下を奉戴。

蚕糸絹に関する基礎科学及び応用技術の研究開発を行うと共に関係科学技術を助長振興し、蚕糸絹業の改良発達を図ることで、蚕糸絹に係る社会文化の向上発展に寄与することを目的として発足し、現在に至る

昭和 11 年 5 月 25 日 大日本蠶絲會後のお茶会招待状
2 代總裁 閑院宮戴仁親王殿下宮内事務官より



武井覺太郎殿

武井覺太郎殿



謹啓
大日本蠶絲會總裁戴仁親王殿下來ル
二十五日長野縣岡谷市役所ニ於テ茶會
御催被遊候間同日午後一時三十分御入來
相成度依命此段御案内申進候 敬具
昭和十一年五月十日

閑院宮附宮内事務官谷口利三郎

農家が個々に卵から育てていたが、江戸後期から蚕種製造業者が出て、良い蚕の卵が産み付けられた紙（蚕種紙）が販売された。検査体制も確立し、諸外国より良質の絹糸が生産されるようになった。↓は明治45年のもの

一化性		越年		又昔		滋賀縣東淺井郡速水村大字速水第四拾五番屋敷		北川作治		産卵日 明治四拾五年十月一日	
一		二		三		四		五		六	
一	一	二	二	三	三	四	四	五	五	六	六
七	七	八	八	九	九	十	十	十一	十一	十二	十二
十三	十三	十四	十四	十五	十五	十六	十六	十七	十七	十八	十八
十九	十九	二十	二十	二十一	二十一	二十二	二十二	二十三	二十三	二十四	二十四
二十五	二十五	二十六	二十六	二十七	二十七	二十八	二十八	二十九	二十九	三十	三十
三十一	三十一	三十二	三十二	三十三	三十三	三十四	三十四	三十五	三十五	三十六	三十六
三十七	三十七	三十八	三十八	三十九	三十九	四十	四十	四十一	四十一	四十二	四十二
四十三	四十三	四十四	四十四	四十五	四十五	四十六	四十六	四十七	四十七	四十八	四十八
四十九	四十九	五十	五十	五十一	五十一	五十二	五十二	五十三	五十三	五十四	五十四
五十五	五十五	五十六	五十六	五十七	五十七	五十八	五十八	五十九	五十九	六十	六十

一化性越年：一年に一回卵から成虫に。卵のまま休眠に入り、翌年孵化するもの。
品 種：又昔
蚕種製造所（者）名、産卵日 番号 などが枠に記載されている。

蚕の雌を粘着性のある台紙の上で卵を産み付けさせた後で、水で余分な卵を洗い落とし、更に塩水や風による自然乾燥によって不純な卵を落とした後に製品化。蚕種紙の枠の一つ一つに1蛾ずついれて産卵させ、産卵後、1蛾ずつ微粒子通の検査をする。病気を持っていた蛾が産卵した枠には「有毒」の印が押さへずして無害。

裏面検査済み押印 等倍コピー



2-3-3 蚕種と微粒子病

日本の生糸が輸出で好成績を上げた背景にはヨーロッパでの蚕種微粒子病の流行があった。微粒子病は19世紀のヨーロッパにおける家蚕を大量死させた。



山形区蚕病予防事務所鏡検査

蚕種紙（蚕蛾に産卵させた紙）を顕微鏡でひとつずつ検査している所。



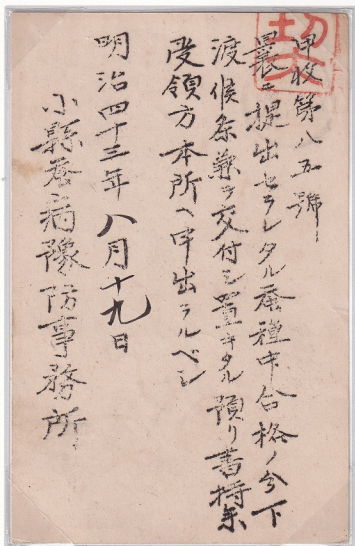
イタリア 1953 国際微生物会議
Agostino Bassi・カイコガ・繭

イタリアの昆虫学者でパスツールやコッポの前に微生物が病気の原因になり得ると発見。カイコの中の病変を観察した。



フランス 2022 パスツール

細菌学者ルイ・パスツールの指導により飼育方法の改善で微粒子病は収束された。



合格蚕種紙、受け取りに必要な蚕種予防事務所からのハガキ



ハガキ消印コピー87%
上田市から塩尻市宛て

機織養蚕の守護神創建

丹後峰山の金毘羅神社は峰山藩7代目藩主・京極高備の命により創建。「機織養蚕の守護神」

絹や養蚕の大敵は「ネズミ」、そのため金毘羅さんにお仕えるのは犬ではなく、猫。日本では唯一の狛猫である



峰山郵便局風景印・初日印

高等学校養蚕実習



最光ノ習實蚕養校等小寺高常尋田新



高等学校での
養蚕実習

推定：明治40年代～
大正7年までのハガキ

繭室の電化は刻下の急務

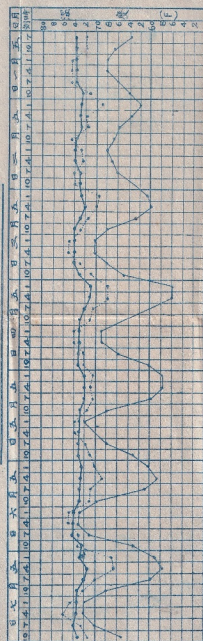
富士の

保温電熱器

電熱土木炭及煉炭トノ熱量一匁收出比較

燃料	上 蘭	中 蘭	玉 蘭	合 計
電 氣	4.34	0.16	0.05	4.496
木 炭	4.003	0.89	0.120	4.913
煉 炭	3.50	0.017	0.065	3.583

養蚕飼育室温度調査表



○ 電熱器温度

○ 木炭火温度

○ 外気温度

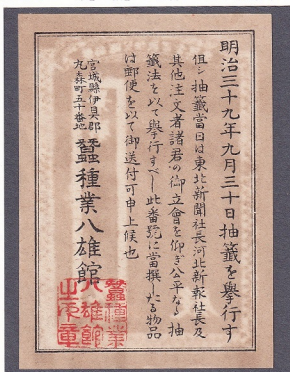
- ❖ 電氣ハ保温ニ對シテ手數ヲ要セズシテ温度ノ調節ガ自由
ニ出來且ツ火災等ノ憂ヒナキガ故安心シテ飼育ガ出來ル
- ❖ 電氣保温ハ木炭又ハ煉炭ノ如キモノヲ使用シテ保温シタルモノニ比較スレバ約一二割方増收ハ確實デアル

- ❖ 電氣ハ繭室ノ上下四隅ノ温度ガ均等スル故理想的デアル
- ❖ 電氣ハ炭類保温ノ如ク毒瓦斯ナキガ故ニ繭ノ生理衛生ニ適ス故ニ一室内ニ於テ多量ノ繭兒ガ飼育出來然モ繭兒ノ發育經過一二日程早クナル

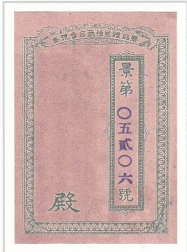
富士電熱工業所



光州 Kwangju 郵便局風景印
蘭の外枠、組合創設記念碑
奥村五百子女子の銅像



蠶種業八雄館発行
「景品贈答抽籤合番號」



裏面コピー65%



養蚕（こぐわ）郵便局消印 現養蚕郵便局



↑ 養蚕風景を描く唯一の風景印



「蚕玉神刻像（1801）」と岡谷郵便局風景印 台切手桑関係

「身上（家財・財産）をつくるも潰すのも蚕」といわれ蚕室が立派になった



日本の民家シリーズ・第1集
富沢家住宅

First Day of Issue Nov. 28, 1997



養蚕農家富澤家住宅 1970 日本民家シリーズ

日本初のシルク製切手シート発売

時代が進み、ついに日本でも絹の切手が登場した



◆ G7 ISE-SHIMA SUMMIT 2016 ◆

2-4 養蚕の工業化

2-4-1 工場

手作業が次第に機械化されて分業化、集約化され家庭の一室から広い工場へと変化した。英国の産業革命での近代化、日本の近代化を担った富岡製糸場である。

「鋸屋根」が特徴。



足利郵便局 織物と工場



フィンランド 1960 繊維工場



イギリス 2021 ロウムズミル
イギリスで初めて運営に
成功した製糸工場

シルクの里 富岡郵便局

POST CARD



2015 富岡製糸場と絹産業遺産群



市制施行10周年記念
市章、繭、織物工場



イギリス 1988 産業革命遺産
ニューラナークの紡績工場



中国 1954
第一次经济建设
麻紡績工場



川俣局 (福島県) 常泉寺山門
絹織物工場・羽二重反物



2-4-2 紡 績

紡績とは繊維を糸の状態にすること。たとえば綿花、羊毛、麻、蚕糸の「屑」、化学繊維のステープルなど、比較的短い繊維から糸を作ることという。紡績の起源は不明だが約2万年前の旧石器時代のものとされる糸の切れ端が発見されている。短い繊維類を引き延ばしつつ、撚り合わせる（ねじって、互いがからみつくように一体化させる）こと。大和言葉では「つむぐ」である。

手つむぎ



韓国 2024「ユネスコ人類
無形文化遺産」



仏領赤道アフリカ 1937
苗吊りのつむ風景



ハンガリー 1972
繊維技術博物館開館



フィンランド 1973
手つむぎ風景
糸取り棒は壁に固定

紡 車

紡車による紡績はインド発祥。
西アジアを経て、7世紀にヨーロッパ
へ伝わる。



琉球 1971
糸繰り機<ヤーマ>



ベルリン 1967 糸つむぎ
グリム童話「ホレおばさん」



ミレー作「糸紡ぎ立像」ボストン美術館

紡績機

18 世紀中ごろから紡績機の機械化が進んだ。いわゆる産業革命である。ジェニー紡績機(1764 年頃)、アークライト紡績機、ミュール紡績機、リング紡績機(1828 年)と次々と発展。日本では 1872 年富岡製糸でガラ紡(臥雲辰致により 1876 年に考案された紡績機。そのガラガラという騒音から、ガラ紡と呼ばれた。)が考案された

←日本 1948 粗紡行程

1955 ハンガリー →



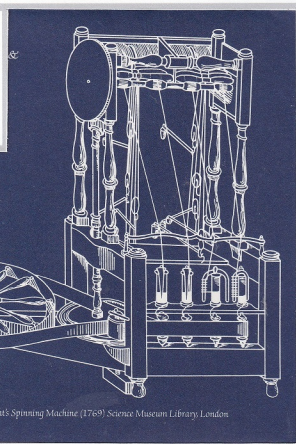
スウェーデン 1961 アルストローマ死去 200 年
実業家、紡績機械に各種改良を。
切手背景に紡績機械を描く



イギリス 2021 初のジェニー多紡績機



←中国人民郵政 1953 慶祝三八國際婦女節



Patent drawing of Arkwright's Spinning Machine (1769) Science Museum Library London

1769 アークライト紡績機特許図面 ロンドン科学博物館図書館蔵

精紡機

粗紡行程でできた粗糸を引きのばし、撚りをかけるのが精紡機



ベルギー 1948
ミュール精紡機



ブルガリア 1955 精紡機



中央アフリカ 1968



モンテセラト 1985

殖産興業政策を掲げた明治政府は輸出品の要である生糸の品質改良と大量生産が急務だった。1872年操業開始し、その後、民間に払い下げられ、1987年までの115年間一貫して生糸の生産が続いた。2014年世界遺産に登録される。



世界遺産

富岡製糸場

Tomioka Silk Mill

国指定史跡

国指定重要文化財

朝孝筆

日本橋区下町十九番地
出版人 大田 敬 齋

アルカリ性の薬品を用いて生糸に残っているセリシンや汚れを除き、生糸を柔らかく光沢のものにし、いよいよ織り機にかけられる。



織姫祭 1937



織姫祭 1937 一宮郵便局風景印 初日印



栃木県小山市マンホールカード
寒川尼：頼朝の乳母で結城軸を広めた



琉球 1917 ジパタ



オランダ領東インド 1932 機織り



韓国 2024 ユネスコ無形文化遺産
「韓山萌織」モシ織りの姿を描く



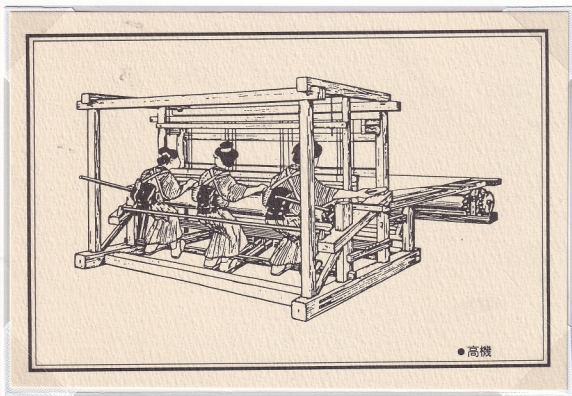
1974 昔ばなしシリーズ第2集 つる女房 機織り



ポルトガル 2017 ポルトガル繊維産業



トーゴ共和国 1968 ゴッホ作「織機の織り手」



●高機

高機 日本一大きなもの 明治期に川内村（現在の桐生市川内町）で使用された。輸出用頂羽二重を織った（森秀織物参考館“紫”はがき）



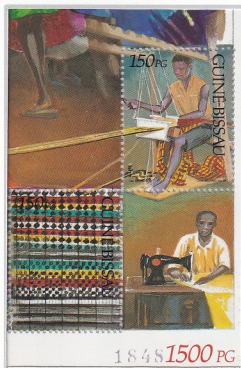
1981 トーゴ 手織り



カンボジア 1965 織り子



中央アフリカ 1968 自動織機



ギニアビサウ 1991 織機 →

1848 1500 PG

日本シルク商標関係

海外貿易が盛んになり、各地に製糸工場ができると品位と信用の保持が問題となる。各製糸場も売り込みの為、独自のラベルを作成するようになる。(1870年代) 法制化は1873年「製糸製造取締規則」発令。各地からの商標は横浜で輸出商社の商標に取り替えられた。1884年高橋是清を責任者としてドイツ型の先願登録主義を採用した登録商標法が發布された。



←蚕種印紙
接種検査用の印紙。日本初の印紙であり、明治5年から明治10年の間に各年度毎に発行。



1985 工業所有権制度 100 年
高橋是清を描く



大日本帝国秋田県蚕糸業組合改証紙
生糸、繭、桑の葉を描く



シルク(生糸)商標



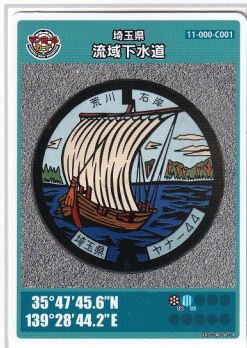
座繰り生糸の商標 明治初期に従来の胴繰りや手挽きを能率化し木製齒車使用の座繰製糸

各地から横浜へ、海外へ



「水上のシルクロード」富岡から生糸は荷馬車等で利根川支流・烏川の倉賀野河岸に運ばれ、艀に載せられ、利根川へ下り、平塚河岸（上武大橋付近）からは親船に積み替え、利根川をさらに下り、関宿で江戸川に入り、いったん東京湾に出て、大川（隅田川）の河口をのぼり、日本橋を経て横浜へ。

「大川」は江戸時代の荒川（今の隅田川）のうち吾妻橋以下の名称こちらマンホールカードは江戸～昭和初期活躍した帆船「高瀬舟」



「陸のシルクロード」岡谷、諏訪の信州生糸、甲府や秩父の生糸は甲州道を下り、八王子から陸路で横浜港に運ばれた



丹治俊樹著「知の冒険」より



横浜第二庁舎局風景印→



1972 税関100周年記念

横浜生絲取引所は1859年に開港して1928年に神戸取引所が出来るまで日本唯一の生糸取引所。

現在の横浜第二庁舎局に昔の生糸検査所が残っている。



YOKOHAMA SILK EXAMINATION.

所査検糸生濱横

第三章 各地の絹織物

3-1 ブータンの絹



ブータン 1969 「仏教の祈りのバナー」シルクレーヨン切手

ブータン 山藁 手織りワイルドシルク 手染め・天然染色



3-2 インドのタッサールシルク「非暴力の絹」

ヤマモリ科のタサール蚕 *Antheraea paphia* の繭から作られる絹。

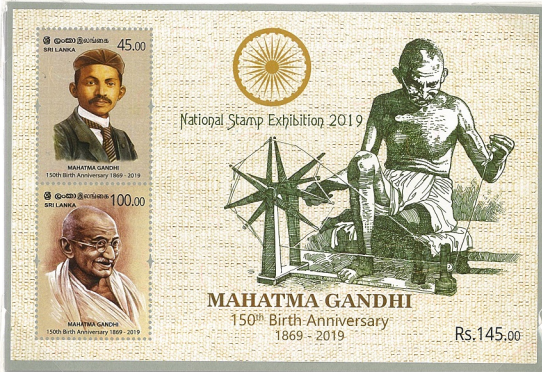
タサール蚕の繭は収穫されると紐につけられ、天井に吊るされます。タッサーギカは蛾が繭に穴を開け飛び去ったものを使用。したがって蛾は無傷で、交尾してさらに卵を産む子孫を残すことができます。こうして農家は次の世代のタッサールシルクを収穫することができます。

これがタッサールシルクが「非暴力の絹」と呼ばれる理由。
(タッサールシルクにはビュアタッサールもある。損傷のない繭を使用して作られ、こちらは幼虫が繭の中ですでに死んでいる。) 大変に貴重なシルク。

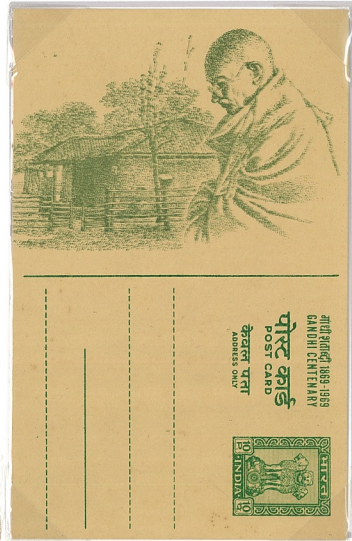
タサール蚕は沙羅双樹等の葉を食べる



2007 日印交流年記念
印デザインは 18 世紀ラージヤ
スタン州で発達した細密画



シオラレオネ 2019 ガンジー生誕 150 年 世界切手展記念



インド 1969 ガンジー-100 年 ポストカード

3-3 銘 仙

はじまりは西暦 1800 年前後の江戸後期。養蚕農家の織子がくず糸を使用して自らが着用するものを織っていたことが銘仙のはじまり「耕（かすり）」と呼ばれる手法を用いた平織りの絹織物の一種。大正から昭和にかけて女性の普段着やお洒落着として日本中で流行した。足利、桐生、伊勢崎、秩父、八王子が五大産地。



伊勢崎郵便局風景印 S 26-60 使用



秩父郵便局風景印 初日印 廃止



足利銘仙會発行 推定大正 8 ~ 昭和 7 ↓





結城糸 糸織り

真綿を知らない方、「えっ、綿なのに絹ページに？」なんて方が多くなった。生糸にするに至らない品質の悪い繭（玉繭、出殻繭、汚染繭、その他の屑繭）をアルカリ性薬品で精練した後でよく水洗い、水中で広げながら引き伸ばして中の蚕や不純物を取り除くゲバと呼ぶ木枠に四角く均一に張りかけて乾燥させるのが一般的な製法。そこから糸を紡いだものが紬糸。室町時代に木綿の生産が始まる以前は、綿（わた）という単語は即ち真綿の事を指す。



玉繭（二頭の蚕が作った繭）



真綿・紬糸 実物

紬に関する重要文化財指定条件

- 1、 手つむぎ
- 2、 耕手くくり
- 3、 地機織り



裏面マーク 50%



かみこやしなひ図 第十 北尾重成 (1786)

国立大学法人 東京農工大学 科学博物館 所蔵

繭から真綿を作っている図

財団法人・日本真綿協会ハガキ

3-5 結 城 紬

古代長幡部紬が結城紬の原型。小山市東部は桑村・絹村と呼ばれて養蚕が盛ん。頼朝の乳母だった寒川尼は地頭職を命じられた



結城フレイム切手
6.15 は栃木県民の日



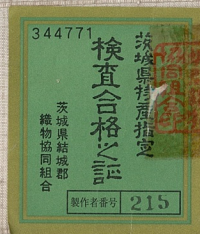
関東会員大会切手展小型印
紬・繭・蚕・蛾 勢ぞろい



小山市マンホールカード
寒川尼の着物は結城紬

3-6 牛 首 紬

1160 年勃発の平治の乱で現在の白山市白峰に逃れた源氏の落人の妻たちが始めた織り。玉蕨から生まれた紬糸を天然染料で染めた気品ある紬



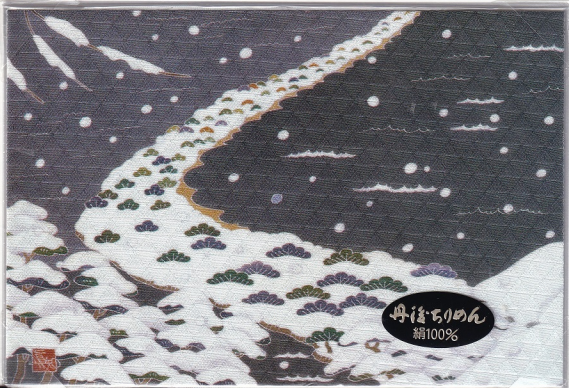
3-7 丹後ちりめん

はじめは1770年代丹後地方特有の撚糸技術を用いた後染め絹織物。撚糸が収縮し、撚りが戻ろうとする力で生地の上にシボと呼ばれる凹凸がうまれる高級品



峰山郵便局風景印 初日印
丹後ちりめんを描く

丹後ちりめんハガキ →
絹100%「天の橋立」



丹後ちりめん

西陣織は京都府京都市の西陣地域で生産される日本を代表する絹織物。西陣とは京都の北西部（上京区、北区）にあたる地域の名称をいい、1000年以上の歴史を誇る。5～6世紀頃に秦氏により伝えられた養蚕と絹織物の技術が起源といわれている西陣織は、生地を先染めした糸を使い、模様を複雑に織り出す、華麗で格調高い雰囲気から礼装用の帯となる。



京都大宮鞍馬口風景印
西陣の町並みを描く

西陣町屋風景・機織りが描かれている
機織りの音が聞こえるよう



能 装 束

唐織の影響をうけた西陣織、
能装束を専業とする唯一の織
元が西陣の佐々木能衣装であ
る。桃山時代から受け継がれて
おり、西陣織りの優れた技術
と経験を駆使し、舞台の裏方
として日本文化を守っている。



1972 古典芸能シリーズ 「能」





代表的な染め工芸のひとつが「友禪染め」。手書き友禪は白生地へ柄を手描きする。昔はツユクサの花弁から出る「青花」で絵を描いた。糊を使うのが特徴で、染料のにじみを防ぎ、動植物や風景を華やかに描く

加賀友禪



下絵を描く青花はツユクサから

↓ 加賀友禪反物

「三十三間堂」ご祈禱済み京友禅スマホ拭き（このまま郵送できる）



okuru ofuki

お
3
み
®



made in 京都 japan



AA 1999149

經濟產業大臣指定傳統的工藝品



IK-7130

TEI (076)224.5511

結100%

作家名

稻手明仁作

檢閱、檢針、檢印

(協)加賀染振興協会

[illegible]

参考文献 磯貝有之「せんいの文化史」 荒牧裕一「変わり種切手大図鑑」 丸善「織維の百科事典」
小山市立博物館「桑摘み唄と小山の養蚕」 増田美子「日本服飾史」 那須野が原博物館「近代シルク物語」

10089